



「東海村“自分ごと化会議”～公共施設の在り方を考える～」

開催目的・概要について

【内容】

1. はじめに（東海村公共施設等総合管理計画）
2. 自分ごと化会議開催目的
3. 自分ごと化会議概要

1. はじめに（東海村公共施設等総合管理計画）

■ 東海村公共施設等総合管理計画（2017～2046）

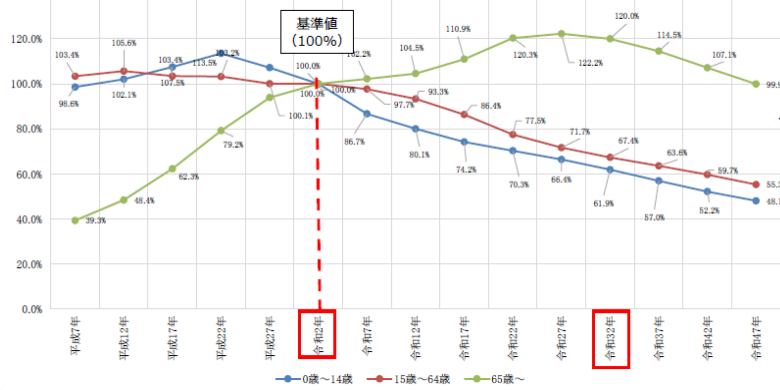
背景と目的

- ▶ 中央自動車道笹子トンネル天井版落下事故（2012年）をきっかけに、総務省から地方自治体へ計画策定要請があり、2017年に策定しました。
- ▶ 当該計画においては、**公共施設等の状況の把握** と **長期的な視点による計画的な更新・長寿命化** を行うとともに、今後予想される公共施設等の**財政負担を軽減・平準化**するべく、**村の実情にあった公共施設等の最適な配置の実現**を目指します。



東海村の現状と課題認識

① 今後30年の東海村の人口推移（東海村人口ビジョン）



30年度に
20%の
減少見込み

② 公共施設等の更新費用の見直し

- ▶ 将来的な投資的経費の参考値(推計)：年間27.7億円 (a)
- ▶ 今後60年間の公共施設等の更新費用：約1,920億円
→1年あたりの平均費用：約32億円 (b)

年間4.3億円
不足 (b-a)

課題認識

- ▶ 公共施設の老朽化に伴う**安全性の確保**
- ▶ 将来人口の変化に伴う**ニーズへの対応**
- ▶ 財源の減少による**投資的経費の抑制**
- ▶ 公共施設等の改修、更新に伴う**過大な財政負担**

数値目標

① 公共建築物の使用期間

- ▶ 目標とする使用期間：**70年**
⇒適切なタイミングに適切な補修・改修を行うことで長寿命化を図ります。

② 公共建築物の方向性

- ▶ 将来の公共施設等維持管理費削減に向け、公共建築物の延床面積換算で**25%削減**を目標値として設定します。
⇒単に公共建築物の面積削減のみを目指すのではなく、歳入増加や歳出抑制、民間活用の推進等により、可能な限りサービスを維持しつつも、今後の更新・維持管理費用の抑制を目的にした数値目標となります。

まとめ

POINT

公共施設等の適正配置検討のため
『**対話による住民意向の把握**』が必要

村としては **数値目標のみに従い一律に削減することを検討するのではなく**、今後の社会構造の変化や、住民の施設利用状況、ニーズの推移等を的確にとらえるとともに、“官民協創”の視点を取り入れた新たな住民サービスの提供も検討しながら計画を推進していく必要があると考えています。

公共施設は住民サービス提供の根幹を成すものであることから、**財政面のみならず、住民との対話により、必要性や地域の実情等も十分に把握した上で**公共施設の適正配置を進めてまいります。



2. 自分ごとと化会議開催目的

開催目的

【「東海村公共施設等総合管理計画」～まとめ～】

▶ 公共施設は住民サービス提供の根幹を成すものであることから、
財政面のみならず、住民との対話により、必要性や地域の実情等も十分に把握した上で 公共施設の適正配置を進めてまいります。

公共施設等の適正配置検討のため
『対話による住民意向の把握』が必要

R5年度 STEP 1

公共施設の在り方をテーマに
「自分ごと化会議」開催

施設
レビュー



自分ごと
化会議

全村で公共施設の問題を“自分ごととして”
認識してもらうための下地作り

構想日本による
運営サポート

R6年度～ STEP 2

【例】「タウンミーティング」開催

自分ごと化会議で整理された課題・
提案等について、各地区で議論・
協議を展開

(成果例)

千葉県君津市
公共施設の未来を考
えるために「君津まち
づくりプロジェクト」実施
⇒「公共施設再配置
方針」に反映

対象施設

「東海村公共施設等総合管理計画」のうち、
住民が日常的に利用する施設（20施設）

区分	対象施設	区分	対象施設
市民文化系施設 (9施設)	石神コミセン	社会教育系，スポ ーツ・レクリエーション系 施設 (6施設)	総合体育館
	村松コミセン		スイミングプラザ
	白方コミセン		テニスコート
	真崎コミセン		村立図書館
	中丸コミセン		東海駅コミュニティ施設
	舟石川コミセン		歴史と未来の交流館
	姉妹都市交流会館	保健福祉施設 (3施設)	総合支援センター「なごみ」
	中央公民館		総合福祉センター「絆」
	東海文化センター		村民活動センター
行政系施設・産業 系施設 (2施設)	東海村役場		
	東海村産業・情報プラザ		

「自分ごと化会議+α（タウンミーティング）」により…

持続可能な公共施設等の総合管理の推進に向け、
住民等と公共施設の現状や課題を共有し、解決策を話し合いたい。

(参考例) 他自治体での議論のポイント

▶ 公共施設の数は適正か？ ～“将来を見据えた”施設配置について～

▶ 公共施設は有効活用できているか？ ～施設の利用率向上について～

▶ 公共施設の管理運営は適正か？ ～受益者負担の適正化について～

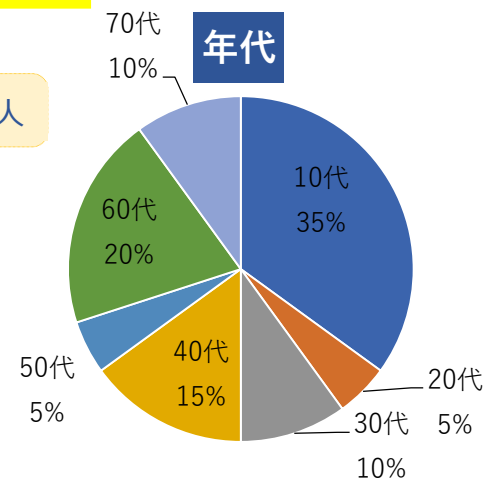
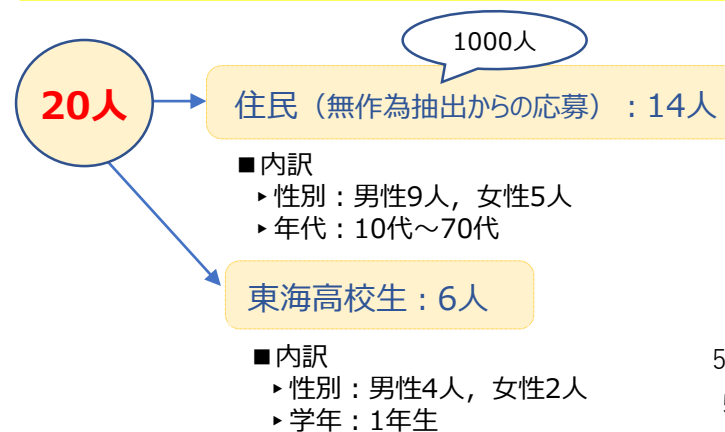


3. 自分ごとと化会議概要

「自分ごとと化会議」とは？

- ▶ **住民基本台帳から無作為に抽出された住民等**が、まちの課題などについて、さまざまな立場の人の意見を聴きながら議論する会議のことです。
- ▶ 無作為で選ぶことにより、**多様な住民の対話**が生まれ、**参加者が地域の課題をどんどん「自分ごと」として考える**ようになるという成果が期待されます。
- ▶ 会議では、行政への要望や批判ではなく、まずは**自分たちにできることを考えます**。「何をすべきか」ではなく、「自分たちはどうありたいのか、どうしたいのか」を議論することで、具体的な行動の変化につながります。
- ▶ 本村でも、令和2～3年度にかけて“原発問題”をテーマに実施し、6つの提案をまとめた「提案書」の提出を受けました。

参加者（自分ごとと化会議メンバー）



概要（流れ、スケジュール、内容）

話し合いでは、国内での“自分ごとと化会議”の運営に多くの実績がある、**一般社団法人構想日本**がコーディネーターを務め、進行をサポートします。

「施設レビュー」

- ・8/26（土）9時～16時
- ・8/27（日）9時～12時

- ▶ 施設区分ごとの現状と課題について、コーディネーター・外部有識者・村職員が議論。
- ▶ 自分ごとと化会議メンバー・外部有識者が、議論内容を踏まえ課題を抽出。

「自分ごとと化会議」

- ①10/8（日）14時～17時
- ②11/5（日）14時～17時
- ③12/17（日）14時～17時

- ▶ 「施設レビュー」で抽出された課題を基に、話し合うテーマを設定。
- ▶ テーマについて自分ごとと化会議メンバーで議論を重ね、解決策などをとりまとめ。

「報告会」

- ・未定：R6.2月～3月を予定

- ▶ 「自分ごとと化会議」で議論した、課題の解決策などをまとめた「提案書」を村へ提出。
- ※内容未定
(前回(原発問題)は、村長へ提案書を提出後、住民・村職員を対象としたセミナーを開催。)

「構想日本」紹介

- ▶ 「自分ごとと化会議」の手法を生み出し、平成21年からこれまで、国内80自治体で計180回の開催実績あり。(R5.3月現在)
- ▶ その他、数々の「政策提言」や「事業仕分け」などを手掛けている政策シンクタンク。
- 担当スタッフ
 - ▶ コーディネーター：熊井 成和（くまいしげかず）さん
 - ・構想日本特別研究員
 - ・元千葉県鴨川市政策参与（非常勤特別職）
 - ▶ プロジェクトリーダー：矢追 優也（やおい ゆうや）さん
 - ・兵庫県川西市職員（R5～構想日本派遣）

※会場は全て東海村役場_原子力視察研修室（行政棟5階）となります。
※全て「公開での開催」となりますので、傍聴者や報道関係者などの来場があります。

